

世界の「AIOIYAMA」プロジェクト意見交換会（第2回）の開催報告

1. 日 時：令和元年7月9日（火）15時00分～17時10分
2. 場 所：西庁舎第8会議室
3. 団 体 名：○「健康と環境を守れ！愛知の住民いっせい行動」実行委員会、
道路公害反対愛知県民会議、相生山緑地を愛する会
4. 市出席者：●緑政土木局企画経理課 岩本主幹（企画）、上杉主査（企画）
道路維持課 水谷主査（安全対策）
道路建設課 可児主査（事業調整）
緑地事業課 中村緑地計画係長
5. 参 加 者：8名
6. 当日の次第
 - （1）開会のあいさつ
 - （2）資料説明
 - ・世界の「AIOIYAMA」プロジェクト意見交換会 主な意見と回答【資料①】
 - （3）今後の意見交換会の進め方
 - （4）閉会のあいさつ
7. 意見交換会 主な意見と回答に関する主なご意見・ご要望
（道路建設について）
 - 道路事業廃止は「市の方針として」と言っているが、議会では承認していないと言われている。方針が決まったから、素案ができたからといっても、市長が変わればまた方針が変わってしまうのではないか。
 - 道路事業廃止は都市計画審議会にて決定されることであり、都市計画審議会に諮るには市民の理解を得る必要があると考えている。道路事業廃止は市の方針なので、当局としても一丸となって検討している。
 - 市長が方針表明してから何年も経っているが、なぜまず道路事業廃止の都市計画決定ができないのか。
 - 地域に協力いただきながら事業費として8割まで事業進めてきており、今でも道路をつくっていいと思っている方もいる。そういう方に対して整備をしてきた道路施設の跡地の利用もあわせて説明する必要があると考えている。
 - 渋滞のために道路をつくるなら、どこでも道路をつくらないといけなくなる。
 - 相生山緑地の中の事業推進エリアにある生活道路を、緊急車両が通ればよい。

- 人口減少、車の減少の時代で、弥富相生山線は必要な道路なのか。都市計画道路をどうするのか正面から議論すべき。
- 「8割」完成という点と誤解される。用地取得の費用も公園として跡地を利用するのであれば無駄にはならない。
- 弥富相生山線は必要なのか、そうではないのか。必要でない場合は理由を説明し、跡地は公園として活用すると説明すれば都計審も通るはずだ。
- 公共交通の活用等のまちづくりのビジョンを示して、道路はいらないと説明しないといけない。
- 「市長が言ったから」ではなく、道路をつくる技術者であっても、立ち止まって見直す勇気が必要。
- 道路建設について市の主張は、最初は1日1万台通るため、次に地下鉄延伸の工事が始まるため、東日本の震災後は避難のためと、ころころ変わっている。

(緑地計画について)

- 市長方針は自然を大事にということが前提だと思うが、緑地計画の素案が整合しているとは思えない。
- 緑地計画の素案は、誰がどうやってどのくらいの時間をかけてつくったのか、机上の計画としか思えない。
- H28に既存の環境調査結果を集約した。H29～30に緑地計画の素案を検討し、H30.12にお示しした。業者に委託しており、市の担当職員が監督しながら進めたものである。自然環境は緑地の資源であり、資源を活用できるように意見交換をしていきたい。
- 園路を道路跡地につくることについては反対が多かったのではないかと。
- 建設済みの道路を活用して、ふれあいの丘へのアクセス園路をつくるという考えである。ふれあいの丘は緑地の真ん中にあり、開けた土地になっているので拠点となり、アクセス園路はユニバーサルな観点から必要だと考えている。車いすの方も利用できるエリア、今の地形や自然を活かして健常者が利用できるエリアの整理は必要だと考えている。バランスをとって検討したい。
- 相生山を里山として後世に保全することが必要
- オアシスの森について前回質問したが回答がない。
- オアシスの森事業は、H10.3開園で21年経った。都市計画公園ではあるが、用地取得が進まない中で樹林が荒れないよう、散策路の整備など暫定的に整備を行い、早期供用することが目的。

(その他)

- ヒメボタルを名城公園から持ってきたとの話が出ているが、専門家でもヒメボタルは移動できるものではない。
- ヒメボタルは橋脚をつくる前はもっとたくさんいた。